

安全報告書 2020



1 ゆりかもめ [安全報告書2020] 発行にあたって

平素より「ゆりかもめ」をご利用いただきまして、ありがとうございます。

都心と臨海副都心を結ぶ「ゆりかもめ」は平成7年11月に開業し、その後、臨海地域とともに発展を続け、おかげさまで開業25周年を迎えることとなりました。

開業以来弊社は、お客様に、安全・安心で、快適な輸送サービスを提供することを最大の使命とし、日々の保守点検を確実にし、安全への投資を継続的に実施するとともに、社員への安全教育・訓練にも積極的に取り組んでまいりました。

令和元年度におきましては、新型車両4編成の導入の他、信号保安設備の更新や駅舎の改修工事、走行路の補修工事などを実施しております。

令和2年に入り感染が急速に拡大した新型コロナウイルスに対しましては、駅構内・車内の換気や消毒の実施などお客様への感染予防対策を講ずるとともに、社員の罹患防止にも努めております。

弊社は今後とも、臨海地域の主要な交通インフラとしての社会的使命を果たすべく、お客様の安全・安心とサービスの更なる向上に努めてまいります。

この報告書は、輸送の安全を確保するために弊社が取り組んでおります内容をとりまとめたものです。安全運行の一層の充実を図るため、ご一読いただき、ご意見やご感想をお寄せ頂ければ幸いです。

株式会社ゆりかもめ 代表取締役社長 **櫻井 務**

ゆりかもめ “企業理念”

安全で快適な輸送サービスにより、
お客様に笑顔と満足をお届けし、
臨海地域、東京の発展に貢献する。

2 安全方針

当社では、「安全方針」を次のように掲げ、社員全員に周知・徹底しています。

ゆりかもめ安全方針

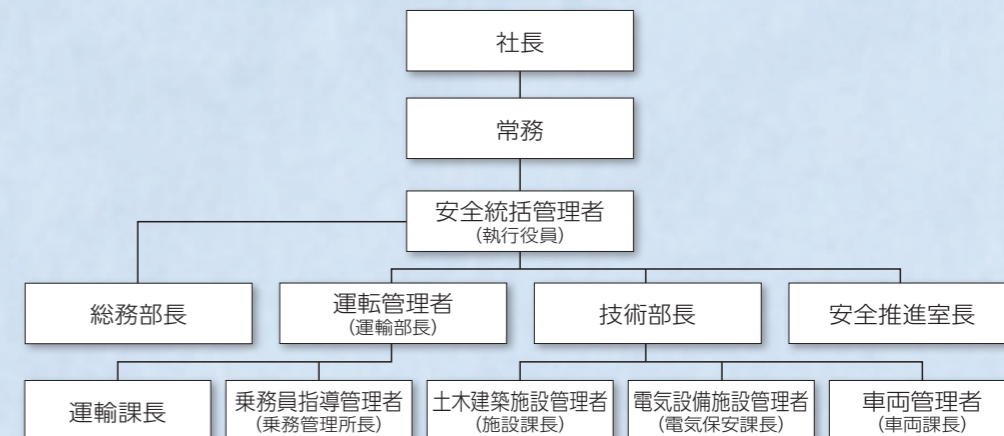
私たちは、お客様の安全を最優先に一致協力して、災害に強く、事故のない「新交通ゆりかもめ」をめざします。

- このため、
- 日々、法令・規程を遵守し、忠実に職務を遂行します。
 - 情報を迅速かつ正確に伝えて共有化し、事故の芽を摘むことに努めます。
 - 常に安全に対する問題意識を持ち、必要な改善に取り組みます。
 - 事故・災害等の発生時は、人命救助を最優先に行動します。

3 当社の安全管理体制

【1】安全管理体制図

社長を筆頭とする安全管理体制を構築しています。各責任者の責務を明確にし、安全確保に取り組んでいます。



【2】役職と責務

社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
安全推進室長	事故防止に関する事項を統括する
総務部長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、財務及び人事に関することを統括する
運輸管理者	運輸に関する事項を統括する
運輸課長	列車の運行管理その他運輸に関する業務を統括する
乗務員指導管理者	運輸指導の資質保持に関する事項を管理する
技術部長	鉄軌道施設、車両等その他技術に関する事項を統括する
土木建築施設管理者	土木建築施設に関する事項を統括する
電気設備施設管理者	電気設備に関する事項を統括する
車両管理者	車両に関する事項を統括する

4 令和元年度 鉄道運転事故・輸送障害等の概要

【1】鉄道運転事故(衝突、脱線、火災、人身傷害、物損にかかる事故)

鉄道運転事故はありませんでした。

【2】輸送障害(列車の運休、または30分以上の遅延が発生したもの)

輸送障害は、次の計2件が発生しました。
ご利用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしました。

- 令和2年2月 9日 飛来物による停電の影響により、遅れと運休が発生
- 令和2年2月16日 ホーム上の安全確認により、遅れと運休が発生

【3】インシデント(鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められるもの)

インシデントはありませんでした。

5 輸送の安全確保のための取り組み

【1】保安対策委員会

ゆりかもめの安全と社員意識の向上を図ることを目的に、社長、役員、管理職及び現場長で構成する保安対策委員会を年5回開催しています。



【2】安全重点施策

安全性の維持向上を図るための目標と計画を定めた「安全重点施策」を毎年度策定し、各種教育訓練や設備の改善に取り組んでいます。

◇令和元年度に取り組んだ内容のうち、主なものは次のとおりです。

区分	内容
安全・安定輸送の確保	異常時における迅速かつ的確な対応を図るため、関係部署間合同訓練を継続して実施した
	損傷状況に応じた走行路補修訓練を昨年度に引き続き実施した
	訓練施設を利用して実践作業を行い電気工事の知識を習得した 集電装置交換訓練を実施した
設備の新設・更新・機能維持	走行路の大規模な補修を昨年度に引き続き実施した
	案内軌条締結装置の部品交換を昨年度に引き続き実施した
	全駅の駅ATO装置の更新を実施した
	電車線支持碍子破損に対する再発防止の対策を実施した 新型車両7500系を4編成導入した

【3】役員・管理職による職場巡回

社長をはじめ、管理職が定期的に各職場を巡回し、安全確認を行っています。また、役員・管理職と社員との懇談会を通じて安全意識の高揚を図っています。



【4】工事及び保守業務委託受注者安全説明会

年度当初に、受注者を対象として当社の安全管理規程やヒューマンエラー対策等について安全講習を行い、現場作業の安全確保に努めています。



【5】異常時総合訓練

異常時を想定し、お客様の避難誘導や事故復旧のための総合訓練を実施しています。避難誘導の際には、他の鉄道事業者の方々にもお客様役として参加いただきました。



乗客避難誘導訓練



車両・走行路復旧訓練

【6】教育訓練の充実

事故・災害等への対応力の強化と技術レベルの向上を図るため、様々な訓練や安全教育を実施しています。

◇指令員訓練

列車の安全・安定運行を確保するため、運行管理装置操作訓練など異常時を想定した訓練を定期的に行っています。



◇乗務員訓練

悪天候や設備の故障等で自動運転ができない場合に備え、定期的に手動運転訓練を実施しています。



◇安全教育

事象事例を題材にした内容(異常時における対応力強化研修)や鉄道の安全の仕組み(安全体験研修等)などに関する教育を実施しています。



【7】各種点検

安全運行を図るための様々な点検を定期的に行っています。



軌道の点検・調整



転てつ機点検・調整

【8】ホームドアの設置状況

ゆりかもめでは、開業当初より、列車のドアと連動して開閉するフルスクリーンタイプのホームドアを全駅に設置し、ホームからの転落事故や列車との接触事故の防止を図っています。



【9】安全のための支出

令和元年度は、安全性の維持向上を図るため、総額64億円を施設や設備の保守管理及び更新に充てました。

【10】新型コロナウイルス感染症対策

駅構内及び車両の換気、駅設備や車内の定期的な消毒、窓口に飛沫対策のための透明ビニールカーテンの設置などを実施しています。駅係員は、マスク着用及び手洗い・手指消毒を徹底して、健康管理に努めています。(令和2年8月現在)



6 車両の更新

◇新型車両の導入

新たに導入した7500系車両は、安全を第一に快適な空間やデザイン性に配慮して設計・製作したもので、ゆりかもめの安全安定運行を担っていきます。



◇旧型車両のリサイクル

これまでゆりかもめの運行を支えてきた旧型車両は、リサイクル工場に送られ解体の後、材料ごとに分別され、新たな資源へと生まれ変わります。



お客様へのお願い

◇新型コロナウイルスの感染症対策

マスク着用、咳エチケットなどの感染予防のほか、車内での会話の際は、周囲にご配慮いただくとともに、ラッシュ時間帯のご利用を避ける時差通勤やテレワーク等の取り組みにご協力をお願いいたします。

◇安全安定輸送に向けて

ゆりかもめは自動運転をしています。ドアの閉まりかけた列車への無理なご乗車は、危険ですのでおやめください。不審物・不審者の発見時は、駅係員または駅や車内に設置されているインターホンでお知らせください。

今後とも安全運行に向けて、お客様のご協力をお願いいたします。

お問い合わせ

この安全報告書や当社の安全への取り組みに対するご意見・ご感想をお寄せください。

株式会社ゆりかもめ

TEL 03-3529-7777 [代] 9:00~17:30 (土日・祝日・年末年始を除く)
FAX 03-3529-7770

URL <https://www.yurikamome.co.jp>

